

■仕様表 2

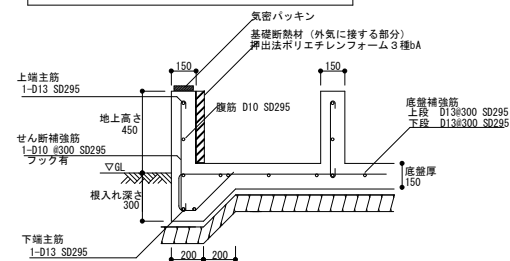
項目	小項目	仕様	備考
建築材料 (法第37条)	基礎コンクリート	コンクリート JIS	
	鉄筋 JIS	設計基準強度 $F_{ck} : 24 \text{ Nmm}^2$ 以上 スランプ: 18 cm 以下 SD295	
令第2章第2節 (居室の天井の高さ、床の高さ及び防湿方法) (令第22条)	居室の床の高さ及び防湿方法	床の高さ 630(直下の地面(BM:400)から)	
令第3章第2節 (構造部材等)	防湿方法	防湿ポリエチレンフィルム $t=0.1$ 気密パッキン施工	基礎断熱工法
	構造部材の耐久 (令第37条)	構造耐力上主要な部分	腐食、腐朽、摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置
	基礎 (令第38条)	支持地盤の種類及び位置 基礎の種類 基礎の底部の位置 基礎の底部に作用する荷重の数値、算出方法 木くい及び常水面の位置 鉄筋	砂質地盤 ($G_L-0.5\text{m}$) 鉄筋コンクリート造べた基礎 地盤面からの深さ: G_L-100 、根入れ: $6L-300$ 地盤の許容応力度 30 kN/m^2 対象外(木くい無し) 主筋: D13、立上り・底盤・開口補強筋: D10
	地盤調査 (令第38条)	地盤調査 地盤改良	SWS試験 該当なし
	屋根ふき材等 (令第39条)	屋根ふき材の固定方法	スレート瓦 全数釘固定 和瓦 平部:全数釘固定、横部:ねじ固定、軒・けらば:ねじ3本固定
		屋外に面する部分の防水等の緊結方法	該当なし
令第3章第3節 (木構造)	木材 (令第41条)	木材の規格(JAS)または等級	横架材、柱材、筋かい等、その他: 無等級材 耐力上の欠点のないこと
	土台及び基礎 (令第42条)	柱間の固定方法 土台の固定方法	土台 120×120 (ヒノキ、無等級材) を設ける アンカーボルト (M12) + 座金 (厚) 4.5×40 角 14ϕ により 聚結、柱から 200 以内に設置 (設置間隔: 2700 以内)
	柱の小径 (令第43条)	横架材間距離 柱断面の欠き取り (1/3以上) の有無 2階建てのすみ柱 有効細長比 λ (最大値)	1階 柱小径 $105 \geq de: 105\text{mm}$ OK 2階 柱小径 $105 \geq de: 79\text{mm}$ OK $1/3$ 以上欠き取る場合は適切に補強 通し柱、又は同等の補強 1階 柱小径 105 、横架材相互間内法 (座屈長さ) 2786 ∴ 柱の有効細長比 $\lambda = 9.1.9 < 150$ OK 2階 柱小径 105 、横架材相互間内法 (座屈長さ) 2700 ∴ 柱の有効細長比 $\lambda = 89.0 < 150$ OK
	はり等の横架材 (令第44条)	中央部付近の下側に耐力上支障のある欠き込み	欠き込み: 無し
	筋かい (令第45条)	筋かいの断面 筋かいの欠き込み	45×90 原則欠き込み無し (必要な場合) たすき部補強: 両面から短冊金物 (S) 当て六角ボルト (M12) 締め、スクリューくぎ (ZS50) 打ち
	構造耐力上必要な軸組 (令第46条)	第1項 第3項 床組・小屋ばり組の火打、構造用合板等、振れ止め	主要な梁せい: スギ ($120 \times 120 \sim 240$) 床組: 構造用合板 (厚) 24 小屋ばり組: 火打ちばり (木製)、振れ止め: 設置 火打土台: スギ (45×90) ユニツトバス、土間床部分は略く
	縦手・仕口 (令第47条)	第4項 壁量基準 (耐震・耐風) 筋かい端部 耐力壁両側柱頭・柱脚 その他の柱頭・柱脚 小屋組の接合方法	筋交い (45×90)、準耐力壁 (石膏ボード) 緊結方法: 筋かいプレート (B P 2等) ○平12建告第1460号の表 (1) ~ (3) ∴ N値計算による かど金物 (C P - L) 等 耐風性向上のための接合部仕様 たるき・軒桁接合: ひねり金物 ST-15 たるき・もや接合: 鉄丸くぎ 2-N75 2本斜め打ち 小屋梁・小屋ばり・小屋束・もや接合: すがすが C120両面打ち
	防腐措置等 (令第49条)	鉄鋼モルタル下地等の防水措置 構造上主要な部分の柱、筋かい、土台	該当なし 地面から 1m の範囲で防腐・防蟻処理

項目	小項目	仕様	備考
令第3章第4節の2 (補強コンクリートブロック造) ※ブロック等を新設する場合の表記方法	塀(令第62条の8)	相造方法 材料の種類 壁の厚さ 補強筋 補強筋端部	控え壁なし 建築用コンクリートブロックA種 150 壁内部: 縦横に 80 cm 間隔に D10 配置 補強筋: 壁頂・基礎端部、縦筋: 壁端部、隅角部 D10 端部はかぎ状に: 折り曲げ、交差する鉄筋にかぎ掛け
	防火構造 延焼のおそれのある部分	屋根(法第22条) 仕上 野地板 防水紙 外壁(法第23条) 仕上 軒集(令第108条) 仕上	住宅屋根用化粧スレート葺き 構造用合板特種 厚 12 鉄丸くぎ N38、 150 ピッチでたるきに固定、 改質アスファルトルーフィング $940(22 \text{ kg})$ 窯業系サイディング 厚 18 通気工法 繊維混入ケイ酸カルシウム板 (厚) 12 EP 全て F☆☆☆☆
居室の内装	内装材 (令第20条の7)	フローリング 集成材 ビニルクロス 化粧石膏ボード ふすま紙 内装・収納ドア 洗面化粧台 キッチンセット 接着剤	全ての居室
	居室の換気	換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造 第3種機械換気設備 $80 \text{ m}^3/\text{h} \times 2$ 基 (1、2階 便所に設置) 各居室に給気口設置 台所はレンジフードによる (換気量 $611.0 \text{ m}^3/\text{h}$) 天井裏等 (合板、構造用合板、取 納内部、石膏ボード) 全て F☆☆☆☆
給排水能設備	建築設備の構造強度 (令第129条の2の3)	昇降機以外の建築設備の構造方法	建築物に設ける昇降機以外の建築設備の安全設置に関 する平12建告第1388号および同左第5改正 (平24国交告第1447号) の構造方法に従い設置
	給水、排水その他の配管 設備 (令第129条の2の4)	給水・給湯管材料 排水管材材料 水栓	引込: ステンレス管 敷地内: 耐腐蝕硬質塩化ビニル管 住戸内: 架橋ポリエチレン管 排水樹: コンクリート製樹、硬質塩化ビニル製樹 排水管: 硬質塩化ビニル製排水管 地中埋設管: 防食テープにて処理 排水勾配: $1/100$ 以上 管径は、上下水道局の基準による 吐水口空間を有効に確保する
特定行政庁が条例、 規則で定める規定	法第40条 法第41条	― ―	― ―

※円滑な審査のために添付することが望ましい。

※設計方法を○で選択

基礎断面詳細図 S=1/20 (令第38条)



※この仕様表を添付することで、図面の書き込みを省力化することができる。

工事名	熊本 太郎 邸 新築工事	一級建築士事務所 ○○センター建築設計事務所 一級建築士事務所 ○○○知事登録 第○○○○号 建築 次郎 一級建築士 ○○○○大臣登録 第○○○○号	図面名	仕様表 2 建築基準法関係	図面 No	0-3
備考		熊本市中央区水前寺6丁目32番1号 TEL 096-000-0000 FAX 096-000-0000	縮尺	1/100		